

令和5年8月31日発行



こうじえん

## 普及センターだより

# 耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220

FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115

FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

第185号

### 宮古地方食の匠の会 技術研鑽研修会を3年ぶりに開催！

宮古地方食の匠の会（神楽栄子会長）は、会員相互の研鑽を図るため、8月24日に「技術研鑽研修会」を開催しました。コロナ禍のため3年ぶりの開催となりましたが、食の匠の他、郷土料理や雑穀に興味のある地域おこし協力隊の若者も加わり、総勢11名の参加者となりました。

今回は、宮古市川井地区の北上山地民俗資料館で、雑穀や木の実を使った郷土料理の資料展示について研修した後、雑穀の生産・販売を行っている嵯峨農園でお話を伺いました。また、昼食は交流会も兼ねて、参加者が一品ずつ持ち寄った料理や菓子をバイキング形式で試食しました。協力隊の方も活動の中で作ったどんぐり飴や雑穀クッキーを持ち寄り、食の匠からアドバイスを受けるなど、積極的に情報交換を行いました。



北上山地民俗資料館での研修



交流会での一品持ち寄りバイキング

【担当：佐藤】

### ～ 岩手県「食の匠」の技 動画で公開中 ～

岩手県公式動画チャンネル (<https://www.youtube.com/@prefiwate>) において、岩手県食の匠による調理動画を公開しています。

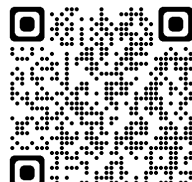
宮古地方からは  
現在2つを公開中。  
順次撮影を行って  
追加していきます！



鮭の親子ずし



豆すつとぎ



## 第 34 回宮古地方日本短角種共進会が開催される

去る 8 月 4 日、第 34 回宮古地方日本短角種共進会が宮古地方農業振興協議会主催により、岩泉町の「乙茂おでんせ広場」を会場に開催されました。なお、本共進会は、9 月 5 日に開催される岩手県畜産共進会日本短角種の部への出品牛の選抜を兼ねて実施されました。

未經産牛や経産牛の部等 4 部門に 44 頭が出品され、審査が行われました。各部門の優秀賞（1 位）を受賞した牛の中から、岩泉町の佐々木和時美氏が出品した「ひめほまれ」が、最優秀賞（名誉賞）を受賞しました。「ひめほまれ」をはじめ 25 頭が、岩手県畜産共進会に出品され、その活躍が期待されます。

なお、当日は、当普及センター畜産担当もスタッフとして共進会の運営に携わり、共進会を盛り上げました。



牛の審査を補助する澤田主任農業普及員（左）と共進会の進行を務める伊藤技師

【担当：昆野】

## 「新農業人フェア in いわて」宮古地方の農業について情報発信！

8 月 26 日に盛岡市のアイーナで県内最大規模の就農相談会「新農業人フェア in いわて」が開催されました。これは県が主催する就農促進イベントで、毎年 1 月と 8 月に開催されているものです。今回は、市町村や各地方農業振興協議会、研修機関、JA 等の他、雇用就農者を求める農業法人等 7 経営体が就農相談ブースを出展し、そこに農業に興味のある 48 人が来場しました。

宮古地方農業振興協議会もこれに出展し、リーフレットや今年 3 月に完成した新規就農 PR 動画等を用いて、宮古地方の農業について情報発信を行いました。参加者からは、これから具体的な相談をしたい、農作業体験会に参加してみたいという反応がありました。

次回は令和 6 年 1 月 13 日に予定されています。この就農相談会は無料で出展でき、過去に出展した宮古地方の経営体で雇用者の確保につながった事例もあります。出展を希望する経営体等は、普及センターにご相談ください。



宮古地方ブースでの就農相談の様子

### ▶新規就農 PR 動画

「宮古地方で畜産農家になる」

<https://youtu.be/jaXdIVE4d8k>

興味のある方にぜひご紹介ください！



【担当：千葉（彩）】

# 台風対策を万全に！

いわてアグリ  
ベンチャーネット  
農作物技術情報

- ✓ 台風に向けて事前の対策を行い、被害防止・軽減に努めましょう。
- ✓ 台風の接近中は、人命第一の観点から、圃場の見回りは行わないでください。
- ✓ 大雨・強風がおさまった後の見回りも、増水した水路やその他の危険な場所には近づかず、足下等の圃場周辺の安全に十分に注意してください。



## 【作目ごとの対策】

	事前対策	事後対策
水稲・畑作物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水や冠水に備え、<u>排水口、排水路を点検・補修</u>し、詰まりの原因となる<u>ゴミを除去</u>する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">排水路の事前点検を！</div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冠水した場合は、<u>速やかな排水</u>に努め、その後は湛水管理とする。(水稲)。</li> <li>・<u>周囲溝や排水口を再点検・補修</u>を行い、<u>排水を促進</u>する。また、風雨で生じた傷口から病原菌が侵入して病害が発生しやすくなるため、<u>薬剤散布</u>を行う(畑作物)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【担当：小野】</p>
野菜・花き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>排水溝の整備・点検</u>を行い、可能であれば侵入水防止のために圃場の周囲に排水溝を設置する。</li> <li>・防風ネットのワイヤーやネットを補修する。</li> <li>・倒伏防止に畦の両端や所々に支柱を補強し、茎葉を固定する。</li> <li>・パイプハウスを点検・補強する</li> <li>・<u>収穫可能なものはできるだけ事前に収穫を終える。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場にたまった水は<u>直ちに排水</u>し、畦間の中耕を行うなど、根の伸長を促進する。</li> <li>・<u>防除マニュアルをもとに殺菌剤を散布</u>する(きゅうりは褐斑病やべと病、ピーマンは斑点病、ブロッコリーは黒すす病)。</li> <li>・草勢が低下した場合は、液肥を薄い濃度で施用又は葉面散布する。</li> <li>・果菜類では、<u>傷んだ茎葉や果実は摘除</u>して草勢回復を図る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【担当：小原】</p>
りんご等果樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫が近い品種について、果実品質や農薬散布後日数を確認し、<u>収穫が可能なものは速やかに収穫を進める。</u></li> <li>・防風ネットを設置している園地では、ネットの張りを点検し、<u>緩んでいるワイヤーの張り直しや破れたネットの張り替え</u>を行う。</li> <li>・わい性樹は強風で倒伏することがあるので、主幹を支柱に2～3か所結束する。</li> <li>・予め排水用の溝を切り、園地から速やかに排水できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強風や雨により樹が斜めに傾いたり横になったりした場合、<u>立て直しはできるだけ早く行う。</u>速やかな立て直しが難しい場合は、露出した根が乾かないようにする。</li> <li>・冠水等により枝に付着したごみや果実の泥を取り除く。</li> <li>・果実に腐敗等が生じた場合は、<u>速やかに取り除く。</u></li> <li>・側枝や大きな結果母枝が折れた場合は、<u>傷口を滑らかに切り、塗布剤を使用</u>する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【担当：千田】</p>
飼料用とうもろこし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場の<u>排水路や排水溝の点検</u>を実施する。</li> <li>・飼料用とうもろこしは湿害に弱いため、排水ポンプを準備する等の事前の排水対策をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場が冠水した場合は、<u>速やかに排水</u>を行う。また、台風通過後、倒伏・折損の状況を見て<u>早めに収穫・貯蔵</u>する。</li> <li>・調製にあたっては、「登熟中のもの・泥等の付着があるもの」へは<u>乳酸菌等の添加</u>を行い、<u>良質発酵</u>を促す。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【担当：澤田】</p>
畜産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停電に備え<u>非常用電源を準備</u>し、動作確認や燃料の確保を実施しておく。また、断水に備え、<u>飲水用の貯水タンクを準備</u>する。</li> <li>・畜舎周辺を点検し、畜舎内に雨水が入らないよう<u>排水溝の点検</u>を行うとともに、必要に応じ修繕や補強を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水した畜舎は、疾病等の発生防止のため、台風通過後に<u>速やかに清掃・消毒</u>を行う。</li> <li>・牛床の敷料が雨水等で濡れた場合は、<u>速やかに乾いたものと交換</u>する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【担当：澤田】</p>

## 水稻の適期刈取りについて

- ・今年の出穂期は平年より3～4日早まりました。
- ・出穂期以降も猛暑が続いていることから刈取時期は平年よりもかなり早まります。
- ・今年はお穂直後が高温に推移したことから、胴割粒や白未熟粒が多発する恐れがあり、品質を低下させないため、刈遅れは厳禁！
- ・水稻の収穫適期は籾の熟色で判断します。黄化した籾の割合が80-90%程度となったら収穫適期です。
- ・最終的な刈取判断はテスト籾すりを実施して行いましょう。
- ・各市町村の刈取適期の予測は以下のとおりです。（8月30日現在）

市町村別の出穂期と積算気温による刈取適期到達日の目安（8月30日時点）

市町村名	出穂期			刈取適期到達日の目安		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
宮古市	7/30	8/3	8/7	9/5	9/10	9/16
山田町	7/30	8/3	8/9	9/5	9/10	9/18
岩泉町	7/31	8/2	8/6	9/6	9/9	9/15
田野畑村	7/31	8/3	8/6	9/6	9/10	9/15

※刈取適期到達日の目安は、出穂期から翌日の積算平均気温で概ね950℃に到達した日である。  
※積算気温は8月30日まではアメダス実測値、それ以降は各アメダスデータ（宮古、山田、岩泉）の平年値を使用した。

【担当：小野】

## “農作業 慣れと油断が 事故のもと”

～秋の農作業安全月間が始まります～

岩手県では、令和5年9月15日から11月15日までを「秋の農作業安全月間」として定め、農作業安全確認運動を実施します。

秋の農繁期は、農業機械による作業が増えるとともに、日没が早まることで農作業事故の危険性が高くなる時期です。農作業事故を防ぐため、次のことを心がけましょう。

- ・ゆとりのある計画的な作業を心がける。
- ・農業機械に触るときは、必ずエンジンを停止してからにする。
- ・1人での作業は避け、家族には作業場所と帰宅時刻をしらせる。
- ・農作業に出かける際は、携帯電話を持ち歩く。

平年より猛暑が続く年となりました。9月も厳しい残暑が続く予報となっていますので、水分補給をこまめにし、熱中症にも注意して作業しましょう。



【担当：戸田】

## 耕耳苑 インターネット版のお知らせ

耕耳苑は、岩手県公式サイト「いわてアグリベンチャーネット」にも掲載しています。過去号も見ることができますので、ぜひご確認ください。

トップページ > 現地の情報 > 宮古・岩泉 > 普及だより（宮古）

→各号のページの「添付ファイル」からPDFファイルを開いてください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/local/miyako/fukyudayori/index.html>

